



2019年度(19期生)修了式

◇ なごやか農楽会からのお知らせ

～ 2020年度(19期)総会開催のご案内 ～
～ 農業ボランティア育成講座募集始まる ～

◇ 援農作業予定 (3～5月)

◇ 援農作業実績 (11～1月)

◇ 農家さん紹介/あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

2020年度(19期)
なごやか農楽会総会のご案内

2020年度(19期)なごやか農楽会総会を次のとおり開催いたします。当期(18期)なごやか農楽会総会において、発足20周年に向けた記念行事開催の承認を得、準備を開始しました。2020年度(19期)は、記念行事に向けた準備作業が本格化します。2020年度(19期)なごやか農楽会総会では、20周年記念行事開催に向けた準備(準備・開催委員会発足等)作業等

令和2年4月19日(日)総会開催

についてご説明させて頂く予定です。
多くの会員の皆さまのご出席をお願いいたします。
なお、農業ボランティア育成講座(19期生)修了式が、2月1日開催され、修了生(30名)が、なごやか農楽会に入会されます。2020年度(19期)は、203名(予定)での農楽会運営となります。

なごやか農楽会からのお知らせ

なごやか農楽会 総会のご案内

1. 開催日：令和2年4月19日（日）
2. 開 会：13時00分
（受付：12時30分から）
3. 閉 会：15時45分（予定）
4. 会 場：名古屋市農業センター
農業指導館

（お願い）

◎総会受付にて2020年度会費1,000円お支払いください。

◎当日は名札（修了証）を着用願います。

◎当日欠席の方は4月30日までに以下の口座へ振込み（注）をお願いします。

振込先：ゆうちょ銀行（支店コード12100）

口座名：なごやか農楽会

種類：普通口座番号68446931

（他銀行からは、店番218—6844693）

（注）当日、総会受付で代理徴収が出来ます。

（総会に参加されるお知り合いの会員に会費をお預けし、代理徴収をお願いする方法です）

総会直前の総会のご案内は、行いません。

（本日よりにてご案内に替えます）

ご承知おき願います。

農業ボランティア育成講座受講希望者説明会が開催されます

農業ボランティア育成講座とは、市民を対象として実際の農業を知るための講義と実習を行い、講座終了後に名古屋の農業の応援団として活躍いただける人材の育成を目的として開く講座です。

平成13年度から実施しており、これまでの卒業生は現在も農業ボランティアグループ「なごやか農楽会」の一員として活躍しています。なごやか農楽会の会員になるためには、講座の受講が必要です。

説明会参加には、事前の申込みが必要です。

日時 令和2年4月4日（土曜日）午後1時30分から

場所 名古屋市農業センター

（天白区天白町平針黒石2872-3）

説明会参加申込期間(事前)

令和2年3月1日から3月20日(当日消印有効)

申込方法

往復はがきの場合 募集要項の最終ページを印刷して、必要事項を記入のうえ、往復はがきに貼ってお申込みください。（募集要項は農業センター等で配布、もしくは、名古屋市のwebよりダウンロードしてください。名古屋市のwebは

名古屋市農業ボランティア育成講座

検索

インターネットの場合

名古屋市電子申請サービスからお申込みください。

名古屋市電子申請サービス

<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>

お問い合わせ

名古屋市農業センター農業ボランティア担当あて

電話番号052-801-5221

評議会報告

報告・審議・検討事項

11月度会議（11月9日開催）

（1）農業センターまつりへの出店結果について野菜栽培セット141set、麦44setと好評でした。

（2）農楽会HP運営等PJの立上げについて農楽会HPの目的についての話し合いを行った。情報の共有や会員間の意識を高めるといった意見や会員向けと外（名古屋市民等）向け、二つの役割があるのではという意見があった。また、更新が大事であるとの意見があり、更新が見えない、少ない、昔の援農の様子が未だに・・・といった現状（課題）が見える。見易く、活用できるようにとの意見あり。目的についての検討が出来たので、次回評議会ですまとめることとした。

（3）2月に発行する農楽会だよりの援農作業実績をグラフも使って紹介することになっている。どのような野菜・果物の援農作業を行っているかが分かるようにしている。

12月度会議（休み）

1月度会議（1月12日開催）

（1）支部間の相互応援体制についてJAなごやかから港・中川支部に新規農家援農依頼が来ている。会員数から支部のみでの対応が難しい。他の支部の会員に参加を依頼することとした。11月26日にJAなごやに説明した。事務局から港・中川区及び近くの区にお住いの会員（25名程）に連絡し、年度内に新規援農依頼への対応を開始したい。

（2）農楽会だよりの2月号発行準備等について2月号から新しい編集に変える。各支部長から援農予定（3～5月）を提出願ひ、その原稿を事務局が加工編集する。農家紹介は、箇条書きでなく、取材記事風とし、農家さんに事前に記事について内容確認をお願いする。市民にアピールしたい。

（3）20周年迄の予定を立て記念行事の実行委員会メンバー募集を総会で行なう。

（4）HP 運営等PJの立上げについてPJメンバー募集を総会で行い、7月に募集を締め切る。9月頃メンバーで打合せを行い、構築・運営方法等を検討し、運営を開始する。

（本文は、なごやか農楽会ホームページの会員のページにあります）

援農作業予定 (3～5月)

てんぱく支部



ぶどう畑での作業風景



玉ねぎの収穫

3月

ニンジンの収穫
トウモロコシ植付けなど

4月

カボチャの植付け
後半にハウスのブドウの花切り
(蕾を先端数センチ残して落とす)

5月

中旬は露地のブドウ(巨峰)の花切り
下旬にハウスのブドウの粒抜き

中旬にサツマイモの植付け
下旬からタマネギの収穫

3、4月は、援農が少なめですが、5月に入ると援農が多くなります。

5月は、12月とともに、援農が集中する時期です。

みどり支部



さつまいも畑のマルチ張り

3月

中玉トマト、ミニトマト収穫、脇芽とり(注1)、下葉かきなど

4月

中玉トマト、ミニトマト収穫、脇芽とり、トーン散布(注2)、下葉かき、サツマイモ畑草取り、堆肥、苦土石灰散布、畑耕耘など

5月

中玉トマト、ミニトマト収穫、脇芽とり、小梅収穫、水稲種まき、下葉かき、桃の袋掛け(注3)、巨砲の花穂切(前半)、摘粒及び房落とし(後半)、サツマイモ畑の堆肥散布、耕耘、畝立て、マルチ張り、幼稚園児の苗植え手伝い、プロックリー苗植えなど

(注1) 中玉トマト、ミニトマト収穫等は、新しく援農に参加される方向きの作業です。収穫適期のトマトを収穫します。熟したトマトは色で見分けますが、これが難しい。習うより慣れろです。

(注2) トマトトーンの散布は、開花したところに散布します。木の頂点のところに散布してはいけません。成長が止まってしまう。

(注3) 「参加者は定年退職した人が多いけれど、とにかく皆さんの元気がすごい。元気がブドウやモモの木に移るのがわかるんです。元気のもとをみなさんにもらって、元気な果物を食べた人が、また元気になるんです。」と農家さん。

援農作業予定 (3～5月)

もりやま支部



トマトハウスでの作業風景

3月

トマト紐つり・クリップ付け、畑整理（草取り、周辺片付け等）、ぶどうの皮むきブルーベリーの剪定など

4月

トマト下葉とり、わき芽とり、東谷山フルーツパーク出店対応、カラス対策（ネット張り等）、ぶどうのつる切り、除草、ブルーベリーの剪定、摘花、施肥など

5月

トマト収穫、袋詰め、畑整理（マルチ外し、周辺片付け等）、ぶどう誘引、房作り、ブルーベリーの剪定、ネット張り、梅収穫など

トマトの援農作業は、雨でもハウス内で作業を行います。

港・中川支部



とうもろこしのトンネル掛け

3月

枝豆の植え付け、ブロッコリー・キャベツ・ホウレン草の収穫、とうもろこし苗準備、ブロッコリー収穫、ジャガイモ植え付けなど

4月

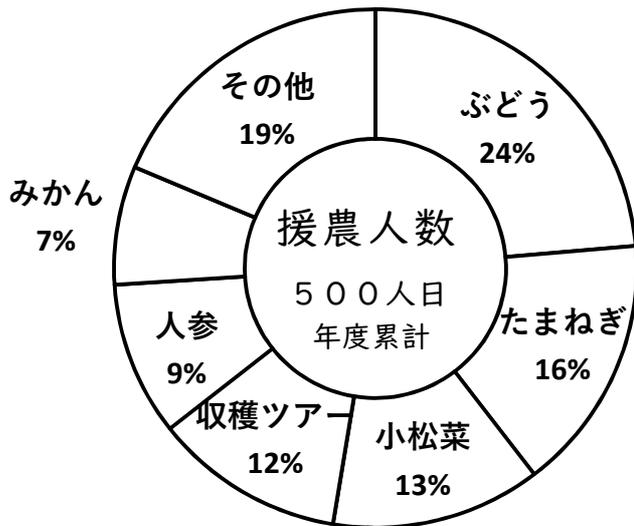
枝豆の植え付け、大根の収穫・整理・洗浄・袋詰め、ジャガイモ・とうもろこし苗植え付け、玉ねぎ収穫、里芋・キュウリ・ナスの植え付けなど

5月

水耕ネギの整理、ジャガイモの収穫、とうもろこし畝の草取り、さつまいも・ナス・キュウリ・ピーマン・落花生の植え付け、玉ねぎの収穫など

援農作業実績 (11～1月)

てんぱく支部



1人日=1人1日3時間の援農作業

三か月間(11月～1月)の援農実績は、158人日。年度累計は、500人日。

三か月間の援農先は、6農家。援農作業は、玉ねぎの定植(注)、みかん収穫、小松菜揃え等です。

年末の12月21日～27日迄は、お正月用の小松菜の出荷に忙しく、7日間で63人が援農に参加しました。みかんは、今年がウラ年で、収穫量が少なく、援農実績も少な目でした。来年は、おいしいみかんが、きっと沢山出来ると思います。

昨年度(11月～1月)の援農実績 409人日

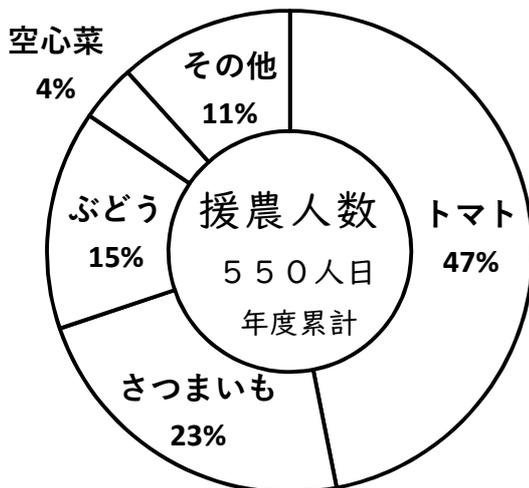
昨年度(4月～1月)の累計実績 718人日

(注) たまねぎの援農作業は、定植(11、12月)と収穫、皮むき(5、6月)があります。



収穫をむかえたミカン畑

みどり支部



1人日=1人1日2時間の援農作業

三か月間(11月～1月)の援農実績は、272人日。年度累計は、550人日。

三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、トマト栽培(注)とさつまいも栽培に関わる作業です。トマトの作業は、トーン散布、誘引、下葉かき、下葉とりなどです。

さつまいもの作業は、5月、6月に園児とともに苗植えしたさつまいもの収穫です。

園児(小・中・大)のいもほりを支部会員が手伝いました。来年もまた、一緒に楽しみたいです。

昨年度(11月～1月)の援農実績 126人日

昨年度(4月～1月)の累計実績 451人日

(注) トマトの援農作業は、トーン散布、定植、脇芽とり、誘引、収穫、下場とり等、年間を通して作業があります。夏場は、お休みです。



園児のさつまいも掘りの準備をしています。

援農作業実績 (11~1月)

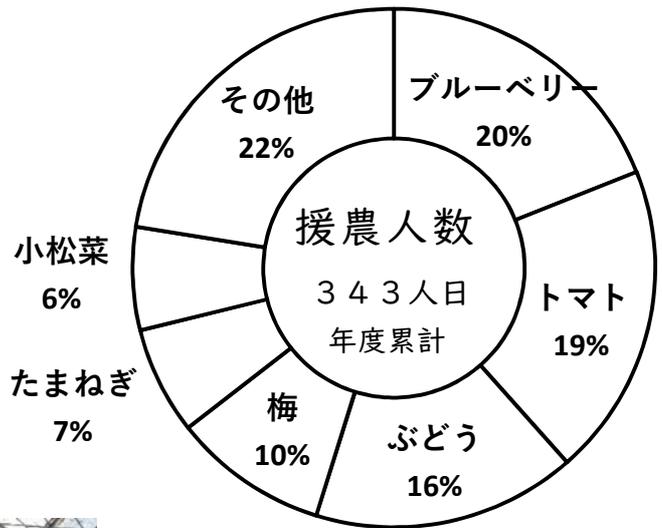
もりやま支部

三か月間（11月～1月）の援農実績は、83人日。年度累計は、343人日。三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、ハウスでのトマト栽培に関連する作業ではなく、ほうれん草・小松菜の収穫、わけぎ・ニラの皮むき、ブルーベリーの枝切り（注）、梅の剪定などです。

昨年度（11月～1月）の援農実績 61人日
 昨年度（4月～1月）の累計実績 247人日

（注）ブルーベリーの援農作業は、剪定、ネット張り、収穫、堆肥・もみがら運び、蔓切り等、年間を通して作業があります。



1人日=1人1日2時間の援農作業



トマトハウスでの作業風景



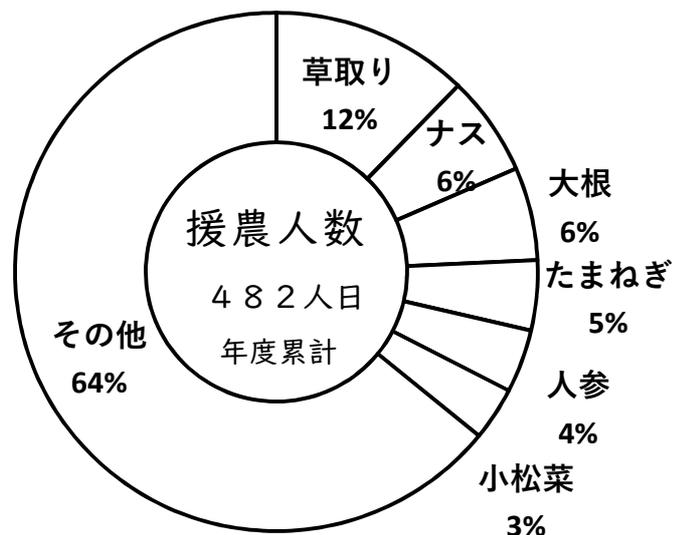
注連縄作りに挑戦

港・中川支部

三か月間（11月～1月）の援農実績は、114人日。年度累計は、482人日。三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、ソラマメの苗植え、冬瓜の収穫が中心。参加人数は少ないですが、玉ねぎ・にんにくの草取り、にんにく・サフランの定植赤・白カブ、水菜の定植、ほうれん草播種等の作業も行いました。

昨年度（11月～1月）の援農実績 155人日
 昨年度（4月～1月）の累計実績 576人日



1人日=1人1日2又は3時間の援農作業



収穫した赤カブ



カブの洗浄

農家さん紹介

今回は、阪野明義さん、紀久枝さん夫妻を訪問しました。

阪野さんは天白地区で大規模に営農されている農家の一軒。地域農業のリーダー的存在。相生山周辺の露地で、カボチャ、ニンジン、タマネギ他を栽培、出荷しています。



阪野明義さん、紀久枝さん夫妻

阪野さん夫妻にお話をうかがいました。

私は16才から運転免許取ってバイク通学しながら農業をやってきて、4月で75歳になりました。私で4代目になります。以前は農業だけで十分な収入がありましたが、今はだめです。それでも今まで代々の農地を維持してきたのが自慢でしょうか。

農作業は、夫婦と常時手伝っていただける方1人、それに必要に応じ農楽会ボランティアさんとで行っています。気候条件は毎年変わりますし、雨や台風で作業計画も狂います。その辺は露地栽培の計画を立てる難しさです。ただ年齢を考え、少しずつ営農の規模を減らしていこうと考えています。農業は80才くらいまで続けるつもりですが、その後は分かりません。

楽しみといえば、農作業の合間によくゴルフに夫婦で行きます。また、季節には毎週土曜日に「朝市」と称して、野菜を直販しています。地元の皆さんに喜んで貰えるのはうれしいですね。

ボランティアさんの援農スキルについては、苗ものを植えるには3-4年の経験が必要で、作業は現場で教えるしかありません。うちは20年前のなごやか農楽会創設時の4人の中心メンバーのひとりです。

今後もみなさんの発展をお祈りします。



タマネギの収穫



ニンジンの収穫



朝市

Q & A (教えて、農家さん)

Q

野菜や果物について、農家さんに聞いてみたい、教えてほしいと思ったことはありませんか。

Q & A (教えて、農家さん) のコーナーを新しく作ります。

聞いてみたい、教えてほしいと思うことを募集します。

聞いてみたい、教えてほしいと思うことがありましたら、以下によりご連絡下さい。

A



メルアドをお持ちの会員

農楽会事務局 川合まで m-k@mwd.biglobe.ne.jp

様式は問いません。メールにて随時、お送り下さい。

メルアドをお持ちでない会員

評議会メンバーに会った際、口頭又はメモでお伝え下さい。

いつでも、構いません。

評議会メンバーなら誰でも構いません。

いずれの場合も、支部、期、お名前をお忘れなく。

(コーナー掲載時に匿名を希望される場合、その旨も、お忘れなく)

あいちの伝統野菜

農業ボランティア育成講座でお世話になっている菅原眞治先生（元農業総合試験場園芸部長）は、日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）という本で『水戸に名君あり、紀州に名臣あり。尾張にあるはダイコンなり。』と政治に深入りしなかった領主に恵まれ、民の生活は安定していて、美味しい野菜を栽培し、品種を改良し、保存していたと江戸の尾張・愛知の様子を紹介されています。

昔から野菜園芸が発達し多くの伝統野菜が存在し、採種業も発達したため、愛知の品種はこの国の主要な野菜品種であったとのこと。

日本生まれの野菜はわずかです。多くの野菜は、海を越えて日本に渡り、各地に伝わり、その土地の気候風土に適した、一つの品種として成立しました。その意味で、在来品種は、生きた文化財として価値の高いものです。

そんな愛知の在来品種が、昭和30年代のF1登場等で、姿を消しました。生産されなくなり、手に入れることも困難になってしまい、親の代まで食べていた野菜を今は、食べないという事態になっています。

そこで、愛知県は、平成18年に今でも栽培できる地域特有の野菜を伝統野菜とし、21品目35品種を選定しました。



次号はたまねぎを紹介します



あいちの伝統野菜

選定の条件は、次のとおりです。

1. 今から50年前には栽培されていたもの
2. 地名、人名など愛知県に由来しているもの
3. 今でも種や苗があるもの
4. 種や生産物が手に入るもの

さきほどの本で、菅原先生は、『このような品種に光を当て、文化財として後世に伝えていくためにも伝統野菜品種を家庭菜園やベジタブルガーデンで栽培して種子生産を続けていく努力が必要な時代となった』と結ばれています。

会員同士、「みる、育てる、食べる」機会を増やすことで、愛知の伝統野菜の保存・継承の力になれば良いと思います。

余談ですが、菅原先生が作られたキャベツを一口頂いた（育成講座受講の時と記憶しています）ことがあります。そのキャベツの甘いこと。こんなに甘いだと感動したことを覚えています。あのキャベツの品種は何だったろう！自分でも作ってみたい！と、原稿を書きながら思っている、食いしん坊の私です。

このコーナーでは、毎号、愛知の伝統野菜を1品目ずつ紹介していく予定です。

参考文献

日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）

日本の野菜文化史事典（青葉高著 八坂書房2013）

愛知県HP愛・地産・アラカルト 農業水産局農政部園芸農産課

編集後記

今回の「なごやか農楽会たより」より紙面を大幅に刷新し会員以外の皆様への配布を開始いたしました。なごやか農楽会の活動を知ること、なごやか農楽会への参加（会員になるには農業ボランティア育成講座の受講が必要で、ご協力をいただければ幸いです。昨年の研修会では、あいち在来種保存会の高木幹夫代表より「地元野菜の魅力と食のストーリー」をテーマとして伝統野菜のお話をうかがいました。多くの伝統野菜は、育てにくい、収穫物が不ぞろいで欠点が多く市場で流通しにくいのが現状です。伝統野菜の価値を認め、育てていくことが大切です。これから暖かくなってくると農作業の季節となります。援農にいそしみましょう。

発行 **なごやか農楽会事務局**（水野・川合） 令和2年2月20日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。